

相関文化論専攻 博士課程前期

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシー達成のため、以下の講義科目、演習科目並びに特別研究を置き、学位論文を課す。括弧内はそれぞれのカリキュラム・ポリシーが対応するディプロマ・ポリシーを示す。

- CP1 文化に関する多様な視点を知り、知識の偏りを回避するとともに、専門分野を掘り下げるための講義科目を置く。(DP1、DP2、DP3、DP4)
- CP2 文化の相関性と相対性に立脚した、複眼的な事象の分析と解明を行う能力を養うための演習科目を置く。
(DP1、DP2、DP3、DP4)
- CP3 常に課題を自主的に見出し、その課題を探究する能力を養うための演習科目を置く。
(DP1、DP2、DP3、DP4)
- CP4 研究に必要な言語の運用能力の専門的なレベルへの向上を目指すとともに、論理的な表現力を身につけ、研究の集大成としての修士論文を課す。(DP1、DP2、DP3、DP4)